

セーブ・ザ・チルドレンの G7 伊勢志摩首脳宣言に対する見解 UHC スーパーヒーローになれなかった G7 首脳

【2016 年 5 月 27 日 12 時 伊勢志摩】

セーブ・ザ・チルドレンは、G7 首脳が首脳宣言で「持続可能な開発目標」(SDGs)の野心的な目標に対応し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)において重要なコミットメントを示したことを評価します。私たちは新しい「UHC 2030 アライアンス」に向けた安倍首相のリーダーシップと G7 首脳の協力を歓迎します。

しかし、このアライアンスに対する資金拠出、また途上国で特定の疾患ごとの資金拠出が引き起こしている分断を削減するための保健援助の協調に対するコミットメントが示されていないことについては、残念だと考えています。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン事務局長の千賀邦夫は言います。「UHC は、貧しい国々におけるすべての女性および子どもの日々の保健医療ニーズを満たすために重要です。感染症の流行から世界を守ることだけが重要なものではありません。」

私たちはまた、G7 首脳がエルマウ G7 サミットで示した、2030 年までに 5 億人の人々を飢餓と栄養不良から救うという約束を達成するためのコミットメントを示したことを、歓迎します。さらに、「成長のための栄養サミット」などの主要な機会の開催を支持したことについても歓迎します。「食料安全保障及び栄養に関する G7 行動ビジョン」は、説明責任の強化を推進してはいるものの、栄養のための追加的な資金については明示されていません。

「世界的な栄養の危機に対応するために、G7 各国首脳が追加的な資金および適切な説明責任を果たすことを求めます」千賀邦夫。

セーブ・ザ・チルドレンは、他の NGO/NPO 団体と共に、G7 首脳にユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)達成のための UHC スーパーヒーローになるよう求めてきましたが、今回の首脳宣言において、残念ながら G7 首脳はスーパーヒーローにはなれなかったと、評価せざるを得ません。

以上



ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成へのコミットメントを求めて、G7 首脳を UHC スーパーヒーローに見立てた等身大パネルを G7 伊勢志摩サミット国際メディアセンター隣接の NGO スペースで展示

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 広報 田代範子 電話：03-6859- 0011 メール：press@savechildren.or.jp